

医療・介護へ活用を

日本ノルディック・ウォーク学会設立 「歩育」など訴え

湯 梨 浜



「歩育」について講演する
大会長の松田さん＝10日、
湯梨浜町旭の水明荘

リハビリテーションをはじめとする医療と介護の分野への活用を
探る「日本ノルディック・ウォーク学会」の設立総会が10日、湯梨浜町旭の水明荘で開かれた。県内外から医師やインストラクターら約100人が出席。第1回同学会学術大会も同時に開かれ、口頭発表や講演、シンポジウムなどでノルディックウォークの成果研究などが報告された。

会長には大阪府枚方市の松谷病院理事長の松谷之義氏が就任。倉吉市のまつだ小児科医院の松田隆氏も副会長に就いた。

同大会長を務める松田氏は「子どもノルディック・ウォークと歩育」と題して講演。子どもたちの足の指が曲がっている現状を話

し、取り組みの成果を披露しながら、生きていく力を育てる教育的活動として「歩育」の大切さを説いた。

この日は同町の燕趙園を発着点に県中部を歩く「第1回SUN-IN未来100キロウォーク」がスタート。韓国人9人を含む26人が元気に出発した。11日まで続き、延べ50人が参加する。また、11日には第1回全日本ノルディックウォーク全国大会が同町の東郷池周辺で開かれる。